

7月14 - 18日週のユーロ円レビュー

July 22, 2008

ユーロ円、週後半は米金融機関決算受け買い優勢

High : 169.69 円 Low : 165.33 円
 Close : 169.49 円 (前週比 0.14 円)

ユーロ円は週初、米政府系住宅金融に対する救済策を好感したドル円の上昇につれ一時 169.69 円まで史上最高値を更新した。しかし、米金融市場への懸念払拭とはならずドル円の上値が重くなると、ユーロ円も 165.33 円まで反落した。ただ、週後半にかけては米金融機関の好決算も下支えとなり、ドル円・クロス円が買い進まれたことから 169 円半ばまで反発した。一方、ユーロドルは 1.6040 ドルまで上昇したが、徐々に上値の重い展開となり 1.58 ドル台まで押し戻された。

7/14 (月) 168.94 円 (前日比 0.69 円)

ユーロドルは米政府系住宅金融に対する救済策が好感されドル買いが進み一時 1.5841 ドルまで下落。その後は反発したが上値は限定的だった。また、ユーロ円は徐々に下げ幅を拡大。168.79 円まで下落した。

7/15 (火) 166.72 円 (前日比 2.22 円)

米金融機関への懸念などからドル売り優勢となり、ユーロドルは 1.6040 ドルへ上昇。その後は米株上昇を背景に徐々に値を崩し 1.5865 ドルへ反落した。ユーロ円はドル円につれ 166.40 円まで下落した。

7/16 (水) 166.42 円 (前日比 0.30 円)

ユーロ軟調。ユーロ円は原油相場の下落したことも重石となり一時 165.33 円まで下落した。ユーロドルは米金融機関の決算が予想を上回りドル買い戻しが活発化。1.5800 ドルまで下振れた。

7/17 (木) 168.64 円 (前日比 +2.22 円)

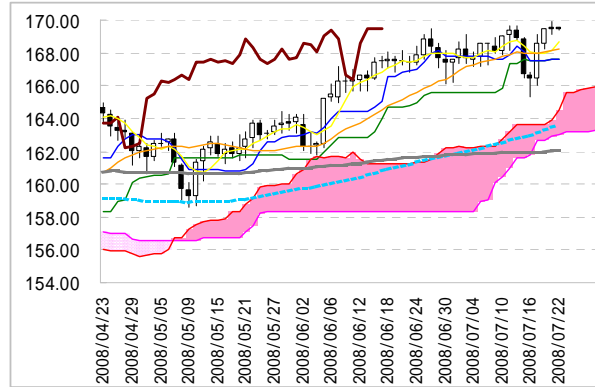
ユーロ円は堅調。ショートカバー優勢の展開を続けると、米株の上昇も後押しとなり、一時 169.12 円まで上伸した。ユーロドルはフィラデルフィア連銀景況指数の悪化を受け 1.5894 ドルまで上昇。しかし、同水準では売り圧力も強く 1.5782 ドルまで反落した。

7/18 (金) 169.49 円 (前日比 +0.85 円)

ユーロ円は堅調。シティグループの好決算を受けドル円・クロス円に買いが入り 169.49 円まで上昇した。一方ユーロドルはドル買い優勢となるなか、1.5807 ドルまで下落。その後はもみ合いとなった。

月日	High	Low
7/14 (月)	169.69 円	168.79 円
7/15 (火)	168.92 円	166.40 円
7/16 (水)	166.86 円	165.33 円
7/17 (木)	169.12 円	166.00 円
7/18 (金)	169.49 円	168.23 円

ユーロ円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

- 171.36 (6/14 - 17 下落幅の 1.382 倍返し)
- 170.00 (心理的節目)
- ==== 先週末の NY クローズ 169.49 円 ====
- 167.61 (日足一目均衡表・基準線・転換線)
- 164.97 (6月9日安値)
- 164.52 (日足一目均衡表・雲の上限)
- 163.58 (90日線)

欧州の重要指標結果

- 7/15 (火) [結果] (前回)
- 独 7月 ZEW 景気期待指数 [63.9] (52.4)
- 独 7月 ZEW 景気現況指数 [+17.0] (+37.6)
- ユーロ圏 7月 ZEW 景気期待指数 [63.7] (52.7)
- 7/18 (金)
- ユーロ圏 5月貿易収支 (季調前) [46 億ユーロの赤字] (25 億ユーロの黒字)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 168.00 - 170.50 円
 今週は先週の独 ZEW に続き、24 日に発表される独 Ifo 景況感指数に注目。市場予想は 93.5 と前回からの悪化を見込んでいる。ユーロ圏を牽引してきたドイツも景気減速が顕著になりつつあり、今回の結果は ECB の景気認識の下方修正または引き締め政策に影響を及ぼす可能性もあろう。このためユーロに対しては売り圧力がかかる可能性もありそうだ。ユーロ円はドル円の動き次第ではあるが、高値警戒もあり一旦調整地合いとなることも想定されよう。